

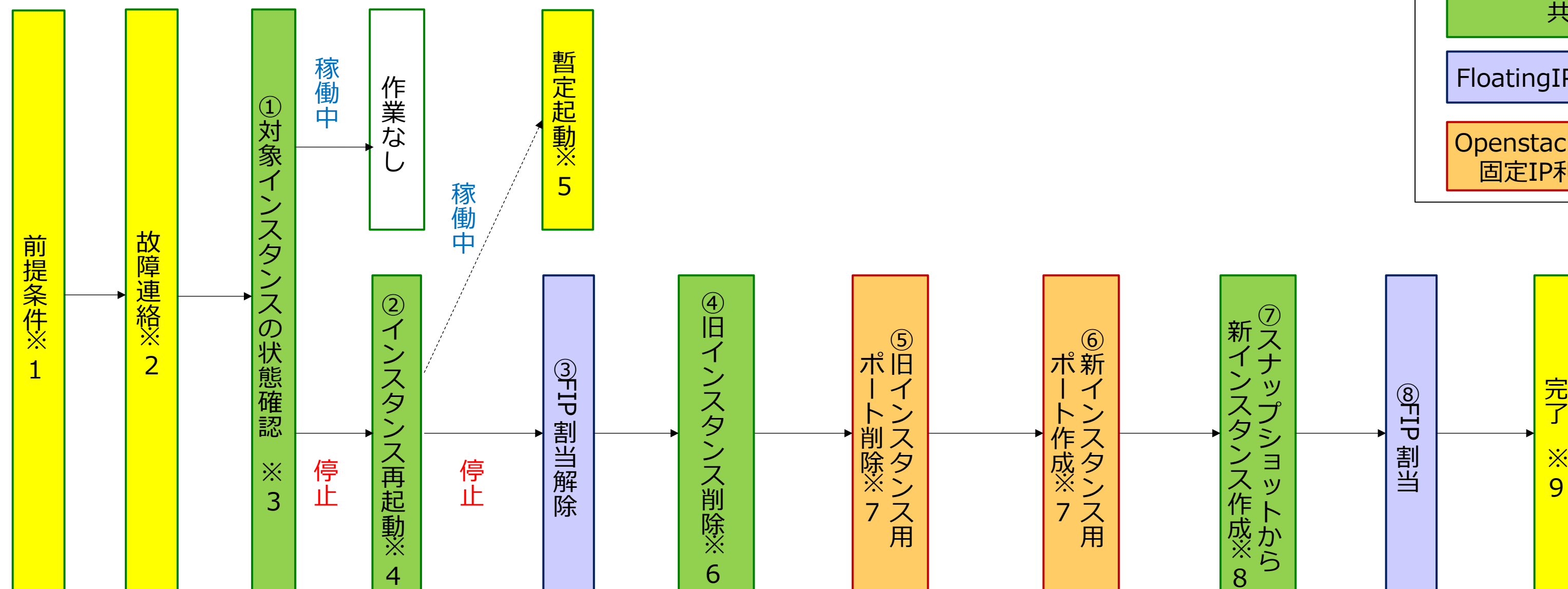
Compute 0物理サーバ故障時の復旧手順 (標準フロー)



2026年6月5日
NTTドコモビジネス株式会社

Compute O物理サーバ故障時の復旧手順（標準フロー）

物理サーバ故障に対する標準的な復旧手順を示します。



凡例

共通実施手順

FloatingIP利用の場合のみ実施

Openstack CLIでの作業が必要
固定IP利用の場合のみ実施

- ※1 復旧用に旧インスタンスのスナップショットを事前に取得している必要があります。
- ※2 最初の故障連絡では対象インスタンスの情報はありません。対象インスタンス情報は別途通知します。
- ※3 「稼働中」と表示されている場合でも故障している可能性があります。対象インスタンスにSSHやPingなどの応答があるか併せてご確認ください。
- ※4 何度か試行すると成功する場合があります。
- ※5 故障した物理サーバ上で利用し続けるのは別故障のリスクがあるため、別物理サーバにインスタンス再作成することをお勧めします。
- ※6 削除できない場合もあります。その場合、後続の作業を進めるためには空きのインスタンスリソースが必要となります。
- ※7 同一IPで復旧させる場合、ポート再作成する必要があります。故障発生時のポートを継続利用すると、物理サーバ復旧時に不具合が発生する可能性があるため。ASR利用は本手順を実施しないとローカルIPが変わるため、弊社営業経由で設定変更依頼が必要となります。
- ※8 一時ディスクは復旧されません。別途ユーザ側で取得したバックアップからの復旧が必要です。
- ※9 インスタンス起動後にお客さま環境に応じて冗長設定やAP設定など必要な作業をする必要があります。

Openstack CLIの導入は以下のリンクを参考にしてください。

- ・ Compute 0をご利用中のお客様
[CLIのセットアップ | docomo MEC®](#)

※以降の手順に記載されるコマンドはOpenstackコマンドとなります。

※Openstack CLI環境を構築したサーバで実施してください。

※バージョンでコマンドが変更されている場合がありますので、お使いのバージョンに合わせてコマンドを使用してください。

1.対象インスタンスの状態確認

物理サーバ故障の連絡を受け取りましたら、お客さま環境のインスタンスの状態を確認してください。
初報では影響対象のインスタンス情報はありませんが、続報で影響対象のインスタンス情報を提示します。

■ 作業詳細

(1)インスタンスのステータス確認

- ①Compute Oのコンソールへアクセスし、[コンピューター]→[インスタンス]をクリックして
各インスタンスのステータスを確認する

➤ 「稼働中」の場合

「稼働中」と表示されている場合でも故障している可能性があります。
対象インスタンスにSSHやPingなどの応答があるか併せてご確認ください。
応答がある場合は、復旧作業は不要です。
応答がない場合は下記の「電源停止」の場合の手順に進んでください。

➤ 「電源停止」の場合

「2.インスタンスの再起動」の手順に進んでください



インスタンス

インスタンス名 ▼ Filter

①

フィルター

インスタンスの起動

インスタンスの削除

More Actions ▼

☐	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス	アベイラビリティゾーン	タスク	電源状態	作成後経過時間	Actions
☐	hukkyu_test	CentOS7		standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	4 分	インスタンスの起動 ▼

Displaying 1 item

2.インスタンスの再起動

インスタンスの起動を実施し、インスタンスが起動するか確認してください。

■ 作業詳細

(1)インスタンスの起動を実施

①インスタンスの管理画面から[インスタンスの起動]をクリックする



インスタンス

インスタンス名

▼

Filter

フィルター

クラウド

インスタンスの起動

✕

インスタンスの削除

More Actions ▼

☐	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス	アベイラビリティゾーン	タスク	電源状態	作成後経過時間	Actions
☐	hukkyu_test	CentOS7		standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	4 分	① インスタンスの起動 ▼

Displaying 1 item

2.インスタンスの再起動

インスタンスの状態(起動or停止)を確認してください。

■ 作業詳細

(2)インスタンスのステータスが「稼働中」か「電源停止」かの確認をする

①各インスタンスのステータスを確認する

➤ 「稼働中」の場合

復旧作業は不要ですが、故障した物理サーバ上で利用し続けるのは別故障のリスクがあるため、別物理サーバにインスタンス再作成することをお勧めします

➤ 「電源停止」の場合

▶ 復旧対象のインスタンスがFIP利用ありの場合

「3.FIP割り当て解除」の手順に進んでください

▶ 復旧対象のインスタンスがFIP利用なしの場合

「4.旧インスタンスの削除」の手順に進んでください

インスタンス											
インスタンス名		Filter		① フィルター		インスタンスの起動		× インスタンスの削除		More Actions ▼	
☐	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス	アベイラビリティゾーン	タスク	電源状態	作成後経過時間	Actions
☐	hukkyu_test	CentOS7		standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	4 分	インスタンスの起動 ▼
Displaying 1 item											

3.FIPの割り当て解除

Floating IP(以下、FIP)の割り当て解除を実施してください。

■ 作業詳細

(1)FIPの割り当て解除を下記で実施する ※1

①インスタンスの管理画面にて対象のインスタンスから[Floating IPの割り当て解除]を選択し、実行する
Floating IPの「解放」をすると同一のグローバルIPを利用できなくなります。必ず「割り当て解除」を実施してください。

インスタンス

インスタンス名

hukkyu_2

フィルター

インスタンスの起動

インスタンスの削除

More Actions

☐	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス	アベイラビリティゾーン	タスク	電源状態	作成後経過時間	Actions
☐	hukkyu_2	hukkyu_test	10. Floating IP: 220.	standard1.tiny	TestKey	稼働中	AZ1	なし	実行中	1 日, 5 時間	1Floating IP の割り当て解除

Displaying 1 item

②「 4.旧インスタンスの削除」 の手順へ進んでください

※1 FIPの管理画面からも割り当て解除を実施可能

4.旧インスタンスの削除

旧インスタンスの削除を実施してください。

■ 作業詳細

(1)後半で利用する情報を事前に取得しておく ※以降の手順で対応に困ることになりますので必ず取得してください

①以下3つのコマンドをOpenstack CLIにて実施する

```
openstack port list --server <旧インスタンス名>
```

```
openstack port show <旧インスタンス用ポートID>
```

```
openstack server show <旧インスタンス名>
```


4.旧インスタンスの削除

旧インスタンスの削除を実施してください。

■ 作業詳細

(2)旧インスタンスの削除を実施する

①インスタンスの管理画面から対象のインスタンスを選択し[インスタンスの削除]を実行する

- 固定IP利用ありの場合
 - ▶ 「5.旧インスタンス用ポート削除」の手順に進んでください
- 固定IP利用なしの場合
 - ▶ 「7.スナップショットから新インスタンス作成」手順に進んでください

固定IP利用とは、復旧後も旧インスタンスのポートのIPアドレスと同じIPアドレスを使用することを指します

Instances

Instances名 hukkyu_t フィルター インスタンスの起動 ✕ インスタンスの削除 More Actions

	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス	アベイラビリティゾーン	タスク	電源状態	作成後経過時間	Actions
☐	hukkyu_test	CentOS7		standard1.tiny	-	稼働中	AZ1	なし	実行中	2 日, 1 時間	Floating IP の割り当て

Displaying 1 item

- インターフェースの接続
- インターフェースの切り離し
- インスタンスの編集
- セキュリティグループの編集
- コンソール
- ログの参照
- インスタンスの一時停止
- インスタンスのリサイズ
- インスタンスのソフトリブート
- インスタンスのハードリブート
- インスタンスの停止
- インスタンスの再作成
- インスタンスの削除

5.旧インスタンス用ポート削除

旧インスタンスに接続されているポートを削除してください。

■ 作業詳細

①インスタンスに接続されているポートを確認するため以下コマンドをOpenstack CLIにて実施する

```
openstack port list --server <旧インスタンス名>
```

<旧インスタンス名> は、インスタンスIDでの指定も可能です。

「openstack port list」コマンドで出力された結果から、「Port ID」が以降の<旧インスタンス用ポートID>を指します。

②削除するポートの情報を確認するため以下コマンドをOpenstack CLIにて実施する

```
openstack port show <旧インスタンス用ポートID>
```

新インスタンス用ポート作成時に使用するパラメータを控えておいてください

- ・ allowed_address_pairs
- ・ ポートのIPアドレス (fixed_ipsのip_address)
- ・ ネットワークID (network_id)
- ・ セキュリティグループID (security_group_ids)

5.旧インスタンス用ポート削除

③ポートを削除するため以下コマンドをOpenstack CLIにて実施する

```
openstack port delete <旧インスタンス用ポートID>
```

<旧インスタンス用ポートID>は、「openstack port list」コマンドで出力された結果から、「Port ID」を指定してください。
※ポート名での指定も可能です。

④「6.新インスタンス用ポート作成」の手順に進んでください

6.新インスタンス用ポート作成

新インスタンス用のポートを作成してください。

■ 作業詳細

- ①新インスタンス用ポートの作成を実施するため以下コマンドをOpenstack CLIにて実施する ※1
複数ポートを使用する場合は必要分実施する

```
openstack port create --network<ネットワークID> --fixed-ip ip_address=<新インスタンス用ポートのIPアドレス><新インスタンス用ポート名>
```

※1.セキュリティグループをポートごとに設定する場合はセキュリティグループオプションを指定する
allowed-address-pairs を利用している場合は、設定する必要があります

6.新インスタンス用ポート作成

- ②作成したポートを確認するのに以下コマンドをOpenstack CLIにて実施する

```
openstack port list
```

- ③「7.スナップショットから新インスタンス作成」手順に進んでください

7.スナップショットから新インスタンス作成

スナップショットから新インスタンスを作成してください。

■ 作業詳細

(1)スナップショットから新インスタンスを作成する

①以下コマンドをOpenstack CLIにて実施する

```
openstack server create --image "<スナップショット名>" --hint group=<アフィニティーグループID>  
--key_name "<キーペア名>" --flavor "<フレーバー名>" --nic port-id=<新インスタンス用ポートID>  
--security-group "<セキュリティグループ名>" "<インスタンス名>"
```

<新インスタンス用ポートID> は、前のスライドで「openstack port create」コマンドで出力された「id」を指定してください。
<アフィニティーグループID> は、必要に応じて指定してください。「openstack server group list」で確認することが可能です。
NICを複数指定する場合は、「--nic port-id=<新インスタンス用ポートID>」を複数記載してください。 ※1
セキュリティグループを複数指定する場合は、カンマ区切りで指定してください。 ※2

②「8.FIP割り当て」手順に進んでください

※1.複数ポートを使用する場合は必要分の新インスタンス用ポートIDを指定する

※2.セキュリティグループをポートごとに設定する場合はセキュリティグループのオプションを指定しない

AP設計支援マニュアル_ネットワーク設計
「ポート単位でのセキュリティグループ設定にて
陥りやすいミス」を参照

8.FIP割り当て

FIPの割り当てを実施してください。

■ 作業詳細

(1)FIPの割り当てを下記で実施する ※1

①インスタンスの管理画面にて対象のインスタンスから[Floating IPの割り当て]をクリックし、割り当てるFIPを選択する

 インスタンス

インスタンス名 ▼ hukkyu_t

フィルター

🔒 インスタンスの起動

✕ インスタンスの削除

More Actions ▼

☐	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス	アベイラビリティゾーン	タスク	電源状態	作成後経過時間	Actions
☐	hukkyu_test	CentOS7		standard1.tiny	-	稼働中	AZ1	なし	実行中	2日, 1時間	Floating IP の割り当て ▼

Displaying 1 item

②インスタンス復旧作業完了

※1 FIPの管理画面からもFIPの割り当てを実施可能。[ファーストステップガイド](#)を参照